■ 特長

この時計は、時刻・カレンダー表示機能（時・分・秒・日・月・曜日）の他に以下の機能を備えています。

●フルオートカレンダー機能
うるう年の2月29日もふくめ、月末のカレンダー修正の必要がありません。（1998年～2048年）

●アラーム機能　1日に1回鳴る、アラームの設定ができます。時報も設定できます。サウンドデモンストレーションができます。

※サウンドデモンストレーション･アラーム音を試し聴きできる機能のことです。

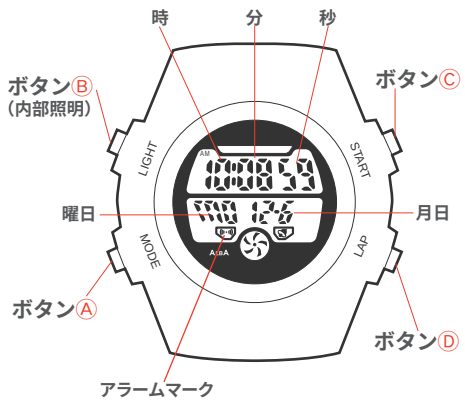
●ストップウオッチ機能　9時間59分59秒99まで計測できます。ラップ計測機能でラップタイムを計る事ができ、ファーステストラップタイムを計測したときはＬＥＤが発光して知らせます。

●タイマー機能　1分単位で23時間59分まで設定できます。

●デュアルタイム機能　異なる１地域の時刻を設定・表示する事ができます。

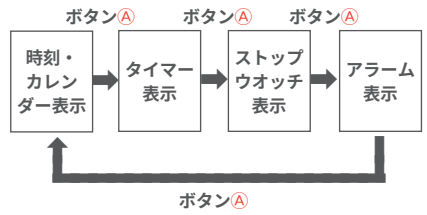
●内部照明機能　ボタンⒷを押すと内部照明が点灯します。約５秒間の残照式です。TWIN-LED（Light-Emitting-Diode）を利用した発光方式です。また、アラーム、タイマー報音等のタイミングに合わせて自動発光します。

■ ボタンの名称と表示の切り替え

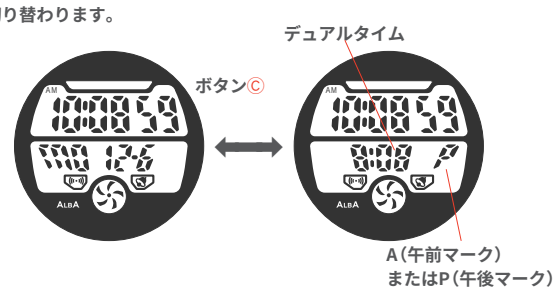


●どのボタンも、どの表示でもアラームの鳴りどめになります。

●ボタンⒶを押すごとに次の順序で切り替わります。（モードマークが各表示に合わせて図のように切り替わります。）



●時刻、カレンダー表示の時、ボタンⒸを押すごとに次の順序で下段の表示が切り替わります。



カレンダー表示（曜日、月、日）⟷ デュアルタイム表示

※デュアルタイム表示にした状態のままボタンＡを押して表示を切り替えると、デュアルタイム表示は解除されカレンダー表示に戻ります。

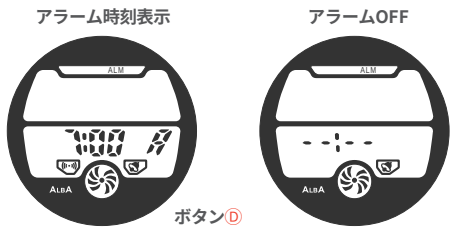
■VIVIDIGIについて

VIVIDIGI（ビビデジ）は色表現やライト点灯時の光り方で様々な表現を実現した新しい液晶パネルです。

主な特徴として
① 光の透過率、反射率が高く液晶パネルが鮮やかにはっきりと見えます。
② デジット（文字・数字）や液晶の背景全体にカラーや様々な仕上げを施すことができます。
③ 画面全体の発光やセグメント（表示内容）のみの発光ができます。

※上記の特徴は機種によって異なります。

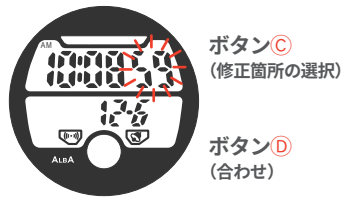
また、ボタンⒹを押しているあいだ、下段にアラーム設定時間が表示されます。アラームがセットされていない時は（アラームOFFの時）--:--が表示されます。



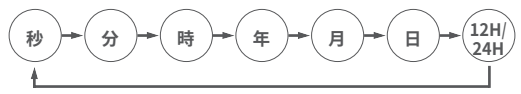
●それぞれの表示で、ボタンⒶを2～3秒間押し続けるとそれぞれの表示の合わせになります。合わせ状態でボタンⒶを押すと各表示に戻ります。

■ 時刻とカレンダーの合わせかた

① ボタンⒶを押して時刻・カレンダー表示にしてください。
② ボタンⒶを2～3秒間押し続けて時刻・カレンダー合わせにしてください。（秒表示が点滅します。）
※この状態で1～2分間操作をしないと時刻・カレンダー表示に戻ります。
③ ボタンⒸを押して合わせたい箇所を点滅させます。
④ ボタンⒹを押して合わせます。ボタンⒹを１回押すごとに点滅している箇所の数字が１つずつ進みます。（押し続けると早く進みます。）



ボタンⒸを押すたびに点滅箇所が変わります。



時と分が同時に点滅している場合、12時間制表示と24時間制表示を切り替えます。12時間制表示のときはA（午前）またはP（午後）マークが表示されます。24時間制表示のときはマークは表示されません。

●秒合わせ（秒）を点滅させ時報に合わせてボタンⒹを押すと、00秒に合います。（秒）が30～59までの時は(分)が1分くり上がって00秒に合います。

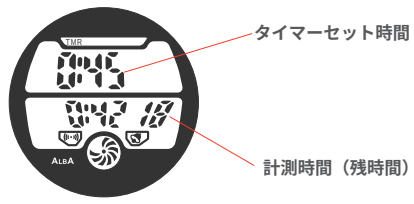
⑤ 合わせ終わったら、ボタンⒶを押して時刻・カレンダー表示に戻してください。

※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンⒸとボタンⒹが同時に押された状態です。その場合は、Ⓐ、Ⓒ、Ⓓいずれかのボタンを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

＜全点灯表示＞

■ タイマーの使いかた

●上段にタイマーセット時間、 下段に計測時間（残時間）が表示されます。セット時間は5つのプリセットタイマー（45分、30分、15分、10分、3分）と、1分から23時間59分までの1分単位でセット可能なフリータイマーがあります。一度セットしたタイマー時間は何度でも呼び出して使えます。計測時間（残時間）は1秒単位で表示します。



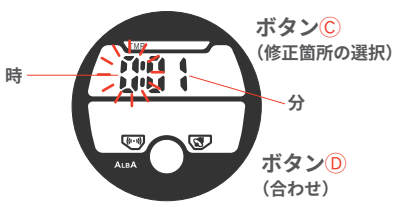
●フリータイマーの合わせかた
① ボタンⒶを押してタイマー表示にしてください。タイマーが使用中、または途中で止まっている場合は、リセットしてください。

※タイマーが動いている時は･･･ボタンＣを押して表示をとめ、ボタンⒹでリセット

※タイマーがとまっているときは･･･ボタンⒹでリセット

ボタンⒶを2～3秒押し続けて、タイマー時間合わせにしてください。（時）が点滅します。

※この状態で1～2分間操作をしないと自動的にタイマー表示に戻ります。



② ボタンⒸを押すごとに、点滅する場所が変わります。（時）→（分）→（時）の順序で点滅箇所が変わります。
③ ボタンⒹを押して合わせます。1回押すごとに点滅しているところの数字が一つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
④ 合わせ終わったら、ボタンⒶを押してタイマー表示に戻してください。

● プリセットタイマーの使い方
ボタンⒹを押して、タイマー時間を選びます。
(45分→30分→15分→10分→3分→フリータイマー→45分→…)

※フリータイマーをどのような時間に合わせても、上の順番で表示されます。

ボタンⒸを押すたびに、スタート・ストップができます。（この操作は何回でもできます。）残り3分、2分、1分、30秒、20秒、10秒、3秒、2秒、1秒で報音、LEDが点滅します。終了すると10秒間タイマー終了音が鳴り、LEDが点滅します。鳴っているタイマー終了音を途中でとめるには、ボタンⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓのいずれかを押してください。この鳴りどめの操作はどの表示の時でも可能です。

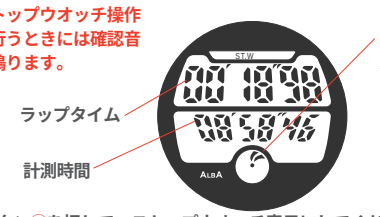
■ ストップウオッチの使いかた

●1/100秒単位で計測表示します。最大計測時間は、9時間59分59秒99です。（時は以下の図のとおりに表示されます。）

●10時間を計測すると表示が00秒に戻ります。

●セットした時間の経過後、自動的に計測をスタートするオートスタート機能があります。

※ストップウオッチ操作を行うときには確認音が鳴ります。



① ボタンⒶを押して、ストップウオッチ表示にしてください。
② 使う前に00秒に戻してください。（ボタンⒹでリセット）

※ストップウオッチが動いている時は･･･ボタンⒸを押して表示をとめ、ボタンⒹでリセット

※ストップウオッチがとまっている時は･･･ボタンⒹでリセット

③ 長い時間を測るときは、スタート後、時刻・カレンダー表示にしておくと誤操作を防ぐことができます。

普通の使い方･････積算タイムを計る

ボタンⒸ スタート → ボタンⒸ ストップ → ボタンⒸ スタート - → ボタンⒸ ストップ → ボタンⒹ リセット

ラップタイムのとりかた･････ラップタイムを計る

ボタンⒸ スタート → ボタンⒹ ラップ → ボタンⒹ ラップ - → ボタンⒸ ストップ → ボタンⒹ リセット

上段にラップタイムが表示されます。ボタンⒹのくり返しで何回でもとれます。

※ファーステストラップが記録されると、LEDが点滅します。（ファーステストラップを後から表示することはできません。）

●オートスタートの使いかた

※タイマー計測中はオートスタート機能は使用できません。タイマーをストップした状態で合わせてください。

① ボタンⒶを押してストップウオッチ表示にしてください。ストップウオッチが使用中、または途中でとまっているときはリセットしてください。

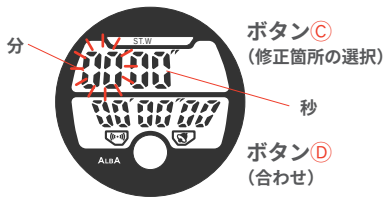
※ストップウオッチが動いているときは･ボタンⒸを押して表示をとめ、ボタンⒹでリセット

※ストップウオッチがとまっているときは･ボタンⒹでリセット

ボタンⒶを2～3秒押し続けて、オートスタート時間合わせにしてください。（分）が点滅します。

※この状態で1～2分間操作をしないと自動的にストップウオッチ表示に戻ります。

② ボタンⒸを押すごとに、点滅する箇所が変わります。（分）→（秒）→（分）の順序で点滅箇所が変わります。



③ ボタンⒹを押して合わせます。１回押すごとに点滅しているところの数字が一つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
④ 合わせ終わったら、ボタンⒶを押してストップウオッチ表示に戻してください。
⑤ ボタンⒸを押すとカウントダウンが開始します。残り3分、2分、1分、30秒、20秒、10秒、3秒、2秒、1秒で報音、LEDが点滅します。途中でとめるときはボタンⒸを押してください。残り0秒になるとストップウオッチ計測を開始します。

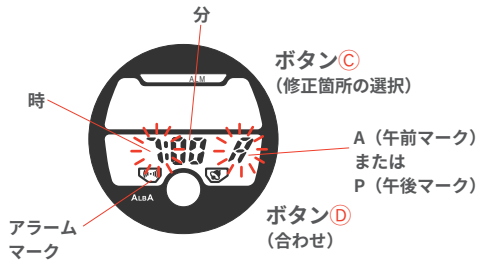
※ストップウオッチ計測を開始すると同時に約10秒間、報音、LEDが点滅します。この間の最初の操作は報音の鳴りどめとなります。ストップウオッチの操作（ストップ操作、ラップ操作）とはなりませんのでご注意ください。

※オートスタートを合わせた後、表示をストップウオッチ表示以外に変更すると、セットされた時間は消えてしまいますのでご注意ください。

■ アラームの使いかた

● 1日に1回鳴るアラームが設定できます。（24時間に1回鳴ります。）

● アラーム時刻の合わせかた
① ボタンⒶを押して、アラーム表示にしてください。
② ボタンⒶを2～3秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。（時）とA（午前マーク）またはP（午後マーク）が点滅します。（この状態で1～2分間操作をしないと自動的にアラーム表示に戻ります。）
③ ボタンⒸを押すごとに点滅する箇所が変わります。（時）→（分）→（時）→･の順序で点滅箇所が変わります。



④ ボタンⒹを押して合わせます。1回押すごとに点滅している箇所の数字が一つずつ進みます。押し続けると早く進みます。

※ アラームマークが消えていても、アラーム時刻を修正すると自動的にアラームマークが点灯します。

※ 時合わせのとき、午前（AM）、午後（PM）をよく確認して下さい。

⑤ 合わせ終わったらボタンⒶを押してアラーム表示にもどしてください。

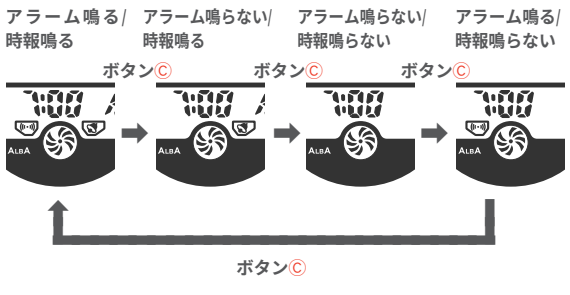
● 鳴っているアラームをとめるには
アラーム設定時刻になると20秒間、報音、点滅を続けます。鳴っているアラームを途中でとめる場合は、ボタンⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓいずれかを押して下さい。

※どの表示の時でも、この操作は可能です。

● サウンドデモンストレーション
アラーム音を試し聴きしたい時は、アラーム表示の時に、ボタンⒸを2～3秒間押してください。押し続けている間アラーム音が鳴ります。

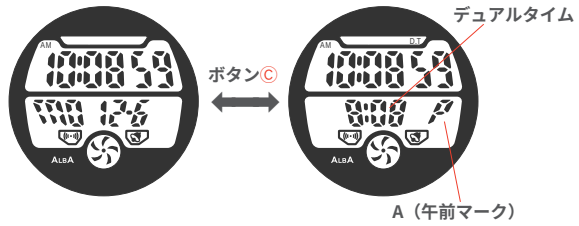
※この操作をした後は、アラームマークと時報マークの状態が変わりますのでアラームの鳴る/鳴らないの設定方法を参照して元の状態に戻して下さい。

● アラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法
アラーム表示でボタンⒸを押すと次の順序で設定が変わります。それにともない、アラームマーク、時報マークがついたり消えたりしてアラーム音・時報のON/OFFを表示します。



■ デュアルタイムの使いかた

● 時刻の異なるもう一つの地域をセットできます。時刻表示でボタンⒸを押すごとに、下段の表示がカレンダー→デュアルタイム（もう一つの地域の時刻）→…の順序で切り替わります。



カレンダー表示（曜日、月、日）⟷ デュアルタイム表示

● デュアルタイムの合わせかた
① ボタンⒶを押して時刻・カレンダー表示にしてください。
② ボタンⒸを押してデュアルタイム表示に切り替えてください。
③ ボタンⒶを2～3秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。（時）とA（午前マーク）またはP（午後マーク）が点滅します。（この状態で1～2分間操作をしないと自動的にデュアルタイム表示に戻ります。）
④ ボタンⒸを押すごとに点滅する箇所が変わります。（時）（A/P）→（分）→（時）（A/P）→･の順序で点滅箇所が変わります。
⑤ ボタンⒹを押して合わせます。1回押すごとに点滅している箇所の数字が一つずつ進みます。押し続けると早く進みます。
⑥ 合わせ終わったらボタンⒶを押してアラーム表示に戻してください。